

色彩嗜好色とファッションアイテムの嗜好色の比較

— 2010年と2019年の調査から —

星野 裕之・佐々田美幸^{*1}・田代 沙織^{*1}・水田 若菜^{*1}
相良 香織^{*2}・坪井祐香里^{*2}

Comparison of the Differences between Color Preferences and Fashion Items
— From Surveys in 2010 and 2019 —

HOSHINO Hiroshi, SASADA Miyuki^{*1}, TASHIRO Saori^{*1}, MIZUTA Wakana^{*1},
SAGARA Kaori^{*2}, TSUBOI Yukari^{*2}

(Received September 24, 2021)

1. はじめに

我々は常に色に囲まれて生活している。目に見えるすべての物に色があり、数多くの色が存在している。色相やトーンが少しでも違えば、全く異なった色として認識される。我々が日々の生活の中で一番色を意識するときは、その日のコーディネートを決める時ではないだろうか。昨今、ファッションに関する情報が溢れかえっており、何冊ものファッション雑誌、いくつものテレビ番組、数えきれないほどのインターネットサイトから、我々はファッションに関する情報を得ることができる。さらにSNSが普及したことから、10数年前よりもっと多くの情報が簡単に手に入れられるようになった。頭から足元までさまざまなファッションアイテムがある中で、我々は毎日、自分で色を選び、コーディネートをする。その数多くある色の中で、人それぞれ「好きな色」や「嫌いな色」があり、また「身につけたい色」や「身につけたくない色」がある。

2010年に「色の好み」と「ファッションアイテムの色の好み」との関係性について調査した。さらに、2010年の調査の結果を踏まえ、2019年に同様の調査を行い、「好きな色」や「嫌いな色」と「身につけたい色」や「身につけたくない色」にどのような経年変化が起こっているのか、またどこが変わっていないのかを検証することにした。

山口大学的女子学生にアンケートに協力してもらい、色としての嗜好色と嫌悪色、そして秋物・冬物のアイテムとしての嗜好色と嫌悪色を調査した。そして、2010年と2019年の結果を比較しながら、特徴や傾向を見出した

ので、報告する。

2. 調査方法

私たちの周りにはたくさんの「色」が存在しており、「色」の好き嫌いには人によってさまざまである。また、私たちは、毎日、着用する洋服を選ぶときに、自ずと自分が身につける色も選択している。

本研究は、色彩としての嗜好色・嫌悪色とファッションアイテムとしての嗜好色・嫌悪色をアンケート形式で調査し、嗜好色・嫌悪色を明らかにするとともに、色彩好悪とファッションアイテム色の好悪との関係性を調べることを目的に行った。

2. 1. 調査準備

2. 1. 1. 提示用色見本

図1のような色見本を用意した。背景の影響を排除するためのグレースケールは、「カラードフォルム無彩色B3版」(日本色研事業株式会社)の灰色画用紙を使用し、色票にはPCCS表色系¹⁾トーン分類に基づいた「配色カード158a」(日本色研事業株式会社)を使用した。トーン分類pale・soft・bright・vivid・grayish・darkの6トーンからそれぞれ赤・赤みの橙・黄みの橙・黄・黄緑・緑・青緑・緑みの青・青・青紫・紫・赤紫の12色相を選択して72色と白・明るい灰・灰・暗い灰・黒の無彩色5色、計77色を選出した。

選出した77色の固有色名およびPCCS記号、マンセル値(公表基準値)を表1に示す。

これら77色の配色カードを2cm×2cmの正方形に切

* 1 * 2010年度 山口大学教育学部卒業生 * 2 2019年度 山口大学教育学部卒業生

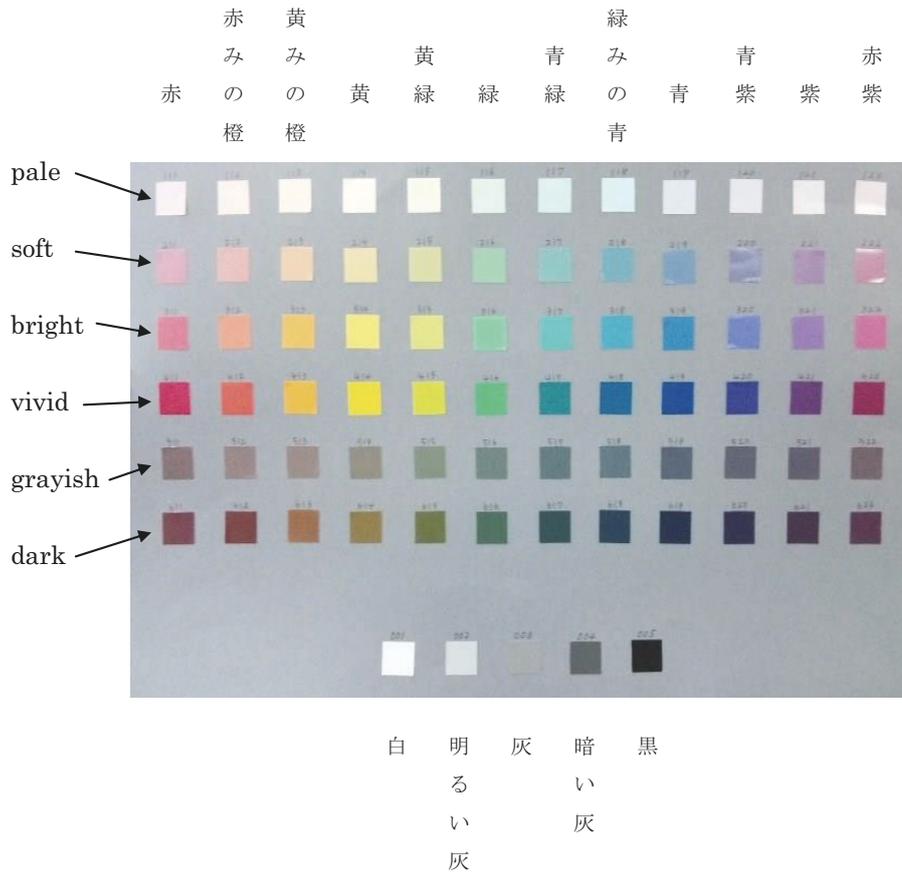


図1 提示用色見本

り、グレーマスクに上からpale・soft・bright・vivid・grayish・darkの順に2cm間隔で貼り付け、それぞれに3桁の番号をふり、提示用色見本として供した。

なお、集計する際に分析者にとって処理しやすいように、各色票の3桁の番号のふり方について、最初の1桁をトーン番号、後の2桁を色相番号とした。トーン番号と色相番号の詳細は以下の通りである。

<トーン番号>

0:無彩色 1:pale 2:soft 3:bright 4:vivid

5:grayish 6:dark

<色相番号>

11:赤 12:赤みの橙 13:黄みの橙 14:黄

15:黄緑16:緑 17:青緑 18:緑みの青 19:青

20:青紫 21:紫 22:赤紫 01:白 02:明るい灰

03:灰 04:暗い灰 05:黒

ここで、たとえば、色番号119はpaleトーンの青、001は白という意味である。ただし、被験者には色番号の意味は伝えず、あくまで分析者の便宜のためである。

2. 1. 2. アンケート用紙

本アンケートは、秋物・冬物のファッションアイテムごとに「身につけたいと思う色・身につけたくないと思う

色」を問うとともに、ファッションアイテムとは関係なく「色として好きな色・嫌いな色」も尋ねて比較することを目的に作成した。

アンケート用紙は計7ページで、1ページ目の上段(図2(a))に本アンケートの内容、回答方法を明示し、1ページ目の下段から6ページ目(図2(b))に各ファッションアイテムに対し「身につけたいと思う色」、「身につけたくないと思う色」、またその色を選んだ理由の回答欄を、7ページ目(図2(c))には学部(2019年調査では学部に「h国総」を追加)と学年、出身地、色として好きな色と嫌いな色の解答欄を設け、回答してもらった。

ファッションアイテムは、2010年調査では、コート、ダウン、シャツ、カーディガン、パンツ、スカート、パンツ、ブーツ、リュックサック、ポシェット、ストールの計11アイテムを選択した。

コート、ダウンの選択理由として、防寒用として冬に着用されること、コートはある程度決まった色、つまり定番色が多いのに対し、ダウンは様々な色が店頭で販売されていることを考慮して、アウターとしてこの2つのアイテムを選択した。シャツ、カーディガンの選択理由は、トップスとして2010年当時ブームであったためである。

表1 提示用色見本の色名・PCCS記号・マンセル記号

色番号	固有色名・慣用色名	PCCS記号	マンセル記号 (公表値)	色番号	固有色名・慣用色名	PCCS記号	マンセル記号 (公表値)
111	桜色	p2	4R 8.5/2.0	411	シグナルレッド	v2	6RP 5.5/10.5
112	シェルピンク	p4	10R 8.5/2.0	412	オレンジパーミリアン	v4	4R 4.5/14.0
113	パールベージュ	p6	8YR 9.0/2.0	413	ゴールドオレンジ	v6	8YR 7.0/13.5
114	とりのこ色	p8	5Y 9.0/2.0	414	たんぼぼ色	v8	5Y 8.0/13.0
115	ホワイトリリー	p10	3GY 9.0/2.0	415	若草色	v10	3GY 7.0/12.0
116	白緑	p12	3G 8.5/2.0	416	エメラルドグリーン	v12	3G 5.5/11.0
117	うす水色	p14	5BG 8.5/2.0	417	ピーコックグリーン	v14	5BG 4.5/10.0
118	しろあい	p16	5B 8.5/2.0	418	シアンブルー	v16	5B 4.0/10.0
119	シルバースカイ	p18	3PB 8.0/2.0	419	コバルトブルー	v18	3PB 3.5/11.5
120	しろすみれ色	p20	9PB 8.0/2.0	420	バイオレット	v20	9PB 3.5/11.5
121	しら藤色	p22	7P 8.0/2.0	421	本紫	v22	7P 3.5/11.5
122	桜色	p24	6RP 8.5/2.0	422	マゼンタ	v24	6RP 4.0/12.5
211	オールドローズ	sf2	4R 6.0/6.5	511	ローズストーン	g2	4R 4.0/2.0
212	フラミンゴ	sf4	10R 6.5/6.5	512	とび色	g4	10R 4.0/2.0
213	小麦色	sf6	8YR 7.0/6.5	513	朽葉色	g6	8YR 4.5/2.0
214	枯草色	sf8	5Y 7.5/6.0	514	オリーブドラブ	g8	5Y 4.5/2.0
215	やなぎは色	sf10	3GY 7.0/5.5	515	みる色	g10	3GY 4.5/2.0
216	わさび色	sf12	3G 6.5/5.0	516	スレートグリーン	g12	3G 4.0/2.0
217	ナイトブルー	sf14	5BG 6.0/5.0	517	なんど鼠	g14	5BG 4.0/2.0
218	サックスブルー	sf16	5B 5.5/5.0	518	シャドウブルー	g16	5B 4.0/2.0
219	うすはなだ	sf18	3PB 5.0/5.5	519	スレートブルー	g18	3PB 3.5/2.0
220	藤納戸	sf20	9PB 5.0/5.5	520	スレートバイオレット	g20	9PB 3.5/2.0
221	はした色	sf22	7P 5.0/5.5	521	けし紫	g22	7P 3.5/2.0
222	たいこう	sf24	6RP 5.5/6.0	522	レイズン	g24	6RP 4.0/2.0
311	紅梅色	b2	4R 6.0/12.0	611	ガーネット	dk2	4R 2.5/6.0
312	キャロットオレンジ	b4	10R 6.5/11.5	612	茶色	dk4	10R 3.0/6.0
313	マリーゴールド	b6	8YR 7.5/11.5	613	コーヒープラウン	dk6	8YR 3.5/6.0
314	カナリア	b8	5Y 8.5/11.0	614	オリーブ	dk8	5Y 4.0/5.5
315	ライムグリーン	b10	3GY 7.5/11.5	615	オリーブグリーン	dk10	3GY 3.5/5.0
316	コバルトグリーン	b12	3G 6.5/9.0	616	ボトルグリーン	dk12	3G 3.0/4.5
317	ターコイズ	b14	5BG 6.0/8.5	617	鉄色	dk14	5BG 2.5/4.5
318	新橋色	b16	5B 5.5/8.5	618	鉄紺	dk16	5B 2.5/4.5
319	つゆ草色	b18	3PB 5.0/10.0	619	紺色	dk18	3PB 2.0/5.0
320	藤紫	b20	9PB 5.0/10.0	620	グレイブ	dk20	9PB 2.0/5.0
321	モーブ	b22	7P 5.0/10.0	621	桑の実色	dk22	7P 2.0/5.0
322	コスモス	b24	6RP 5.5/10.5	622	あんこう色	dk24	6PR 2.5/5.5
				001	白	W	N9.5
				002	銀鼠	Gy-7.5	N7.5
				003	灰色	Gy-5.5	N5.5
				004	スレートグレイ	Gy-3.5	N3.5
				005	黒	BK	N1.5

<色彩アンケート>

～アンケート調査へのご協力のお願ひ～

この調査は、山口大学教育学部 被服学研究室の卒業研究の一環として行うものです。
調査結果は統計的に処理しますので決して個人を特定することはありません。
ご協力お願いします。

これから秋物・冬物のファッションアイテムに関する質問に回答していただきます。
ファッションアイテムごとに身に着けたいと思う色、身に着けたくないと思う色を見本から一色ずつ選んで、番号でお答えください。この際あまり深く考え込まずに直感でお答えください。また、その色を選んだ理由を下から一つずつ選び、記号を○で囲んでください。

図2 (a) アンケート (冒頭部分)

2. 2. 調査実施場所および被験者

本調査を実施した場所は、北窓昼光の入る教室で、2010年は教育学部G棟2階・衣料学実験、2019年は同A棟2階・被服準備室)で、どちらも蛍光灯をつけた状態で実施した。

実施期間は、2010年は11月29日から12月10日までの12日間で、10時30分から16時30分の間に、2019年は10月8日から11月1日までの平日18日間で、10時から16時の間にそれぞれ行った。実施時間を日中に限定したのは、安定した北窓昼光を得るためである。

被験者は、どちらも山口大学の女子学生で、2010年は218名(1年生42人、2年生32人、3年生38人、4年生106人)、2019年は108名(1年生22人、2年生20人、3年生27人、4年生39人)であった。

2. 3. 調査手順

被験者に調査会場に来てもらい、アンケート用紙を配布、色見本を提示し、秋物・冬物のファッションアイテムに関する質問に、それぞれ色番号で回答してもらった。その際の注意事項として、①周囲の人と相談せずに回答する、②深く考え込まずに直感で回答する、ということを説明した。

被験者が緊張状態でアンケートに回答することを避けるために、制限時間は設けなかった。

3. 結果と考察

3. 1. 嗜好色

まず、2010年に調査した「色としての嗜好色」(以下、「色彩嗜好色」あるいは「好きな色」と記す)および「ファッションアイテムごとの嗜好色」(以下、「身につけたい色」と記す)の上位3色を表2(a)に示す。この表はそれぞれの上位3色の固有色名(色番号)をその色を選んだ人数とともに示したものである。

表2(a)より、「好きな色」は1位がコスモス色(322)だが、「身につけたい色」でコスモス色(322)が挙がったのはストールだけである。「好きな色」として選んでいるが、「身につけたい色」としてはどのアイテムでも選ばない人が多かった。シグナルレッド色(411)は「好きな色」でも「身につけたい色」でも多くの回答が得られ、シャツ、カーディガン、パンプス、ポシェット、ストールの5アイテムで上位に選ばれていた。また、黒色(005)も「好きな色」として人気があり、同様に「身につけたい」と思っている人も数多く、シャツとポシェット以外の9アイテムで上位に挙がった。他に、「好きな色」としてはあまり選ばれていないが、コーヒブラウン色(613)や茶色(612)、紺色(619)を「身につけたい」と思う人は多いことが分かった。これらの色が選ばれた

背景には、2010年の流行色²⁾が関係しており、その当時の流行であったアクセントの赤色、黒や灰色のモノトーン、茶色などのアースカラーが山口大学の女子学生にも人気があったことがこの結果から分かる。

「身につけたい」理由は、シャツ、カーディガン、パンプス、ポシェット、ストールで選ばれたシグナルレッド(411)およびストールで選ばれたマゼンタ(422)、コスモス(322)の3色については、「好きな色」でもこの3色を選んでいる人は「A.好きな色だから」と答え、それ以外の人は「H.アクセントにしたいから」という人が多かった。前述の3色以外の色(あんこう色(622)を除く)については、アイテムに関係なく、「G.合わせやすいから」、「C.無難な色だから」という理由がほとんどであった。あんこう色(622)は「A.好きな色だから」という回答であった。

一方、2019年調査による「色彩嗜好色」および「ファッションアイテムごとの嗜好色」の上位3色を見ると(表2(b))、「好きな色」において1番多く選ばれた色は黒(005)であった。2位の色は、コスモス(322)とガーネット(611)の2色で、3位の色は、たいこう(222)、シグナルレッド(411)、マゼンタ(422)、白(001)の4色であった。この上位7色のうち、黒(005)と白(001)を除いた5色は赤系の色(X11, X22)である。注意すべきは、2010年調査においても、2019年調査においても、「好きな色」の1位はせいぜい1割程度で、提示した色77色のうち、2010年調査では52色が、2019年調査では49色が「好きな色」として選ばれており、「好きな色」にあまり偏りがなく、まさしく十人十色である。

アイテムごとに見ていくと、黒色(005)が、「身につけたい色」ではコートとマフラー以外の9アイテムで上位に選ばれた。その9アイテムの中でも、ボアジャケット、パンツ、スカート、パンプス、スニーカー、リュックサック、ショルダーバッグの7アイテムで1位に選ばれている。黒色(005)は、「身につけたい色」において定番かつ人気のある色であると言える。次いで、「身につけたい色」として多く選ばれていた色はガーネット色(611)であった。ガーネット色(611)は、コート、パンプス、リュックサック、ショルダーバッグ、マフラーの5アイテムで上位に選ばれていた。2010年の調査では、黒色(005)は2019年と同じように身につけたいと思っている人が多かったが、ガーネット色(611)はどのアイテムにおいても上位には選ばれていなかった。2019年におけるガーネット色は、その当時の流行色²⁾の中に暗い赤色系が入っていたことが影響したと思われる。

「身につけたい」理由については、コート、パンプス、リュックサック、ショルダーバッグ、マフラーで選ばれた

表2 「好きな色」と「身につけたい色」の上位3色

(a)2010年

色\順位	1位	2位	3位
好きな色 n=218人	コスモス (322) 22人(10.1%)	シグナルレッド (411) 18人(8.3%)	黒 (005) 15人(6.9%)
アイテム\順位	1位	2位	3位
コート n=218人	コーヒープラウン (613) 32人(14.7%)	黒 (005) 31人(14.2%)	紺色 (619) 25人(11.5%)
ダウン n=218人	黒 (005) 55人(25.2%)	スレートグレイ (004) 19人(8.7%)	白 (001) 16人(7.3%)
シャツ n=218人	白 (001) 34人(15.6%)	シグナルレッド (411) 14人(6.4%)	とりのこ色 (114) 10人(4.6%)
カーディガン n=217人	シグナルレッド (411) 25人(11.5%)	灰色 (003) 22人(10.1%)	黒 (005) 19人(8.8%)
パンツ n=218人	黒 (005) 47人(21.6%)	紺色 (619) 39人(17.9%)	オリーブグリーン (615) 16人(7.3%)
スカート n=218人	黒 (005) 28人(12.8%)	スレートグレイ (004) 25人(11.5%)	紺色 (619) 22人(10.1%)
パンプス n=218人	黒 (005) 50人(22.9%)	シグナルレッド (411) 28人(12.8%)	茶色 (612) 23人(10.6%)
ブーツ n=218人	コーヒープラウン (613) 71人(32.6%)	茶色 (612) 52人(23.9%)	黒 (005) 45人(20.6%)
リュックサック n=217人	黒 (005) 26人(12.0%)	コーヒープラウン (613) 21人(9.7%)	茶色 (612) 16人(7.4%)
ポシェット n=218人	コーヒープラウン (613) 52人(23.9%)	茶色 (612) 42人(19.3%)	シグナルレッド (411) 18人(8.3%)
ストール n=218人	マゼンタ (422) 11人(5.0%)	コスモス (322) 10人(4.6%) シグナルレッド (411)	あんこう色 (622) 白 (001) 黒 (005) 9人(4.1%)

(b)2019年

色\順位	1位	2位	3位
好きな色 n=108人	黒 (005) 8人(7.4%)	コスモス (322) ガーネット (611) 6人(5.6%)	たいこう (222) シグナルレッド (411) マゼンタ (422) 白 (001) 5人(4.6%)
アイテム\順位	1位	2位	3位
コート n=107人	コーヒープラウン (613) 15人(14.0%)	茶色 (612) 14人(13.1%)	ガーネット (611) 朽葉色 (513) 8人(7.5%)
ポアジャケット n=108人	白 (001) 黒 (005) 12人(11.1%)	コーヒープラウン (613) 11人(10.2%)	パールベージュ (113) 8人(7.4%)
Tシャツ n=108人	白 (001) 28人(25.9%)	黒 (005) 19人(17.6%)	ローズストーン (511) 灰色 (003) 4人(3.7%)
ワンピース n=108人	コーヒープラウン (613) 12人(11.1%)	黒 (005) 9人(8.3%)	紺色 (619) 7人(6.5%)
パンツ n=108人	黒 (005) 38人(35.2%)	紺色 (619) 15人(13.9%)	茶色 (612) 6人(5.6%)
スカート n=108人	黒 (005) 19人(17.6%)	茶色 (612) 12人(11.1%)	コーヒープラウン (613) 11人(10.2%)
パンプス n=108人	黒 (005) 41人(38.0%)	シグナルレッド (411) ガーネット (611) 10人(9.3%)	コーヒープラウン (613) 8人(7.4%)
スニーカー n=108人	黒 (005) 29人(26.9%)	白 (001) 18人(16.7%)	スレートグレイ (004) 5人(4.6%)
リュックサック n=108人	黒 (005) 65人(60.2%)	ガーネット (611) 5人(4.6%)	スレートグレイ (004) 4人(3.7%)
ショルダーバッグ n=108人	黒 (005) 32人(29.6%)	シグナルレッド (411) 12人(11.1%)	ガーネット (611) 10人(9.3%)
マフラー n=107人	白 (001) 12人(11.2%)	ガーネット (611) 9人(8.4%)	シグナルレッド (411) 8人(7.5%)

ガーネット色(611)は「A.好きな色だから」と回答、パンプス、ショルダーバッグ、マフラーで選ばれたシグナルレッド(411)は「H.アクセントにしたいから」と回答する人が多かった。それ以外の色は、黒(005)も含めて「G.合わせやすいから」、「C.無難な色だから」という理由が大半であった。

3. 2. 嫌悪色

2010年および2019年に調査した「色としての嫌悪色」

(以下、「色彩嫌悪色」あるいは「嫌いな色」と記す)と「ファッションアイテムごとの嫌悪色」(以下、「身につけたくない色」と記す)の上位3色を表3に示す。この表はそれぞれの上位3色の固有色名(色番号)をその色を選んだ人数とともに示したものである。

表3(a)より、2010年では「好きな色」で1位であったコスモス色(322)が「嫌いな色」の3位に入っていることから、コスモス色(322)は好む人と嫌う人に二分される色ということが分かる。「身につけたくない色」とし

表3 「嫌いな色」と「身につけたくない色」の上位3色

(a)2010年

色\順位	1位	2位	3位
嫌いな色 n=218人	オリーブ (614) 21人(9.6%)	オリーブドラブ (514) 18人(8.3%)	コスモス (322) 13人(6.0%)
アイテム\順位	1位	2位	3位
コート n=218人	たんぼぼ色 (414) 27人(12.4%)	コスモス (322) 24人(11.0%)	シグナルレッド (411) 16人(7.3%)
ダウン n=218人	コスモス (322) 27人(12.4%)	シグナルレッド (411) 23人(10.6%)	たんぼぼ色 (414) 15人(6.9%)
シャツ n=217人	シグナルレッド (411) 38人(17.5%)	たんぼぼ色 (414) 16人(7.4%)	コスモス (322) 10人(4.6%)
カーディガン n=218人	白 (001) 21人(9.6%)	たんぼぼ色 (414) 16人(7.3%)	シグナルレッド (411) 13人(6.0%)
パンツ n=218人	コスモス (322) 37人(17.0%)	シグナルレッド (411) 36人(16.5%)	白 (001) 29人(13.3%)
スカート n=218人	コスモス (322) たんぼぼ色 (414) 20人(9.2%)	シグナルレッド (411) 白 (001) 18人(8.3%)	若草色 (415) 16人(7.3%)
パンプス n=218人	白 (001) 20人(9.2%)	コスモス (322) たんぼぼ色 (414) 16人(7.3%)	シグナルレッド (411) 12人(5.5%)
ブーツ n=218人	シグナルレッド (411) 30人(13.8%)	白 (001) 25人(11.5%)	コスモス (322) 19人(8.7%)
リュックサック n=217人	白 (001) 28人(12.9%)	シグナルレッド (411) 20人(9.2%)	コスモス (322) 13人(6.0%)
ポシェット n=218人	白 (001) 20人(9.2%)	コスモス (322) 19人(8.7%)	シグナルレッド (411) 11人(5.0%)
ストール n=218人	シグナルレッド (411) 14人(6.4%)	たんぼぼ色 (414) 黒 (005) 13人(6.0%)	コスモス (322) 12人(5.5%)

(b)2019年

色\順位	1位	2位	3位
嫌いな色 n=107人	オリーブ (614) 11人(10.3%)	コスモス (322) 10人(9.3%)	シグナルレッド (411) 7人(6.5%)
アイテム\順位	1位	2位	3位
コート n=107人	コスモス (322) 12人(11.2%)	新橋色 (318) 11人(10.3%)	たんぼぼ色 (414) 10人(9.3%)
ボアジャケット n=108人	シグナルレッド (411) 17人(15.7%)	コスモス (322) 12人(11.1%)	たんぼぼ色 (414) 11人(10.2%)
Tシャツ n=108人	シグナルレッド (411) 17人(15.7%)	コスモス (322) 15人(13.9%)	オレンジバーミリオン (412) 9人(8.3%)
ワンピース n=107人	シグナルレッド (411) 16人(15.0%)	コスモス (322) 11人(10.3%)	たんぼぼ色 (414) 白 (001) 7人(6.5%)
パンツ n=108人	たんぼぼ色 (414) 20人(18.5%)	シグナルレッド (411) 18人(16.7%)	白 (001) 12人(11.1%)
スカート n=108人	たんぼぼ色 (414) 14人(13.0%)	シグナルレッド (411) 白 (001) 10人(9.3%)	コスモス (322) 8人(7.4%)
パンプス n=107人	たんぼぼ色 (414) 15人(14.0%)	白 (001) 12人(11.2%)	シグナルレッド (411) 11人(10.3%)
スニーカー n=108人	コスモス (322) 11人(10.2%)	シグナルレッド (411) たんぼぼ色 (414) 9人(8.3%)	白 (001) オレンジバーミリオン (412) 6人(5.6%)
リュックサック n=108人	シグナルレッド (411) 21人(19.4%)	たんぼぼ色 (414) 16人(14.8%)	コスモス (322) 9人(8.3%)
ショルダーバッグ n=108人	たんぼぼ色 (414) 14人(13.0%)	シグナルレッド (411) 12人(11.1%)	白 (001) 8人(7.4%)
マフラー n=108人	シグナルレッド (411) 16人(14.8%)	コスモス (322) 11人(10.2%)	若草色 (415) 7人(6.5%)

ても、コスモス色(322)はカーディガンを除く10アイテムで選ばれている。また、「嫌いな色」としての回答は少なかったが、「身につけたくない色」としてシグナルレッド色(411)が11アイテムすべてに選ばれた。シグナルレッド色(411)は「身につけたい色」としても多くのアイテムで選ばれていたため、身につける色としては好みが見られることが分かった。シグナルレッド色(411)、コスモス色(322)に続いて多かったのが、たんぼぼ色(414)である。この色もシグナルレッド色(411)同様、「嫌いな色」として上位に挙がらなかったが、「身につけたくない色」として7アイテムで選ばれた。白(001)も「身につけたくない色」として7アイテムで挙がっている。一方、「嫌いな色」で1位と2位であったオリーブ色(614)とオリーブドラブ色(514)は「身につけたくない色」では回答数が少なかった。

「身につけたくない」理由については、白(001)は「I. その他(汚れやすそうだから)」、「I. その他(太く見えそうだから)」と回答した人が多く、それ以外のシグナルレッド色(411)、コスモス色(322)、たんぼぼ色(414)、若草色(415)は、「D. 派手だから」という回答であった。ストールの黒(005)は「E. 地味な色だから」という理由であった。

表3(b)の2019年調査では、「嫌いな色」において1番多く選ばれた色はオリーブ(614)であった。続いて2位の色はコスモス(322)、3位はシグナルレッド(411)、ランク外になるが、4位にオレンジバーミリオン(412)と若草色(415)(ともに5人(4.7%))が選ばれた。

「好きな色」で2位であったコスモス色(322)は「嫌いな色」でも2位に、「好きな色」で3位であったシグ

表4 「好きな色」と「身につけたい色」をPCCSトーンで分類した上位3トーン

(a)2010年

色・アイテム\順位	1位	2位	3位
好きな色 n=218人	v 29.4%	b 27.1%	dk 14.7%
コート n=218人	dk 44.5%	n 30.3%	g 10.6%
ダウン n=218人	n 42.20%	dk 27.50%	v, g 7.8%
シャツ n=218人	p 26.6%	n 25.7%	dk 15.6%
カーディガン n=217人	n 27.2%	dk 24.4%	v 18.9%
パンツ n=218人	dk 49.5%	n 29.4%	g 10.6%
スカート n=218人	dk 43.6%	n 30.7%	v 8.7%
パンプス n=218人	dk 34.4%	n 27.1%	v 22.0%
ブーツ n=218人	dk 67.9%	n 24.3%	g 5.5%
リュックサック n=217人	dk 37.3%	n 16.6%	v 16.1%
ポシェット n=218人	dk 55.0%	v 13.8%	n 8.7%
ストール n=218人	dk 22.5%	v 20.6%	sf 13.8%

(b)2019年

色・アイテム\順位	1位	2位	3位
好きな色 n=108人	v 25.0%	dk 17.6%	sf,b 16.7%
コート n=107人	dk 44.9%	g 25.2%	n 12.1%
ボアジャケット n=108人	n,dk 27.8%	g 19.4%	p 18.5%
Tシャツ n=108人	n 50.9%	dk 15.7%	g 11.9%
ワンピース n=108人	dk 38.0%	g 25.0%	n 16.7%
パンツ n=108人	n 44.4%	dk 38.0%	g 10.2%
スカート n=108人	dk 43.5%	n 26.9%	v,g 11.1%
パンプス n=108人	n 45.4%	dk 30.6%	v 14.8%
スニーカー n=108人	n 52.8%	dk 17.6%	g 8.3%
リュックサック n=108人	n 69.4%	dk 19.4%	v 6.5%
ショルダーバッグ n=108人	n 39.8%	dk 31.5%	v 15.7%
マフラー n=107人	dk 26.2%	n 18.7%	p 16.8%

ナルレッド (411) は「嫌いな色」でも3位に入っている。このことから、コスモス色 (322) とシグナルレッド色 (411) は好む人と嫌う人に二分されることが分かる。また、この2色は「身につけたくない色」としてほとんどのアイテム (コスモス色：8アイテム, シグナルレッド色：10アイテム) において上位3色の中に入っている。また、「嫌いな色」で上位に挙がらなかったたんぼぼ色 (414) もTシャツとマフラー以外の9アイテムで「身につけたくない色」の上位になった。一方、「嫌いな色」で1位に挙がったのがオリーブ色 (614) であるが、このオリーブ色 (614) はどのアイテムにおいても「身につけたくない色」の上位には挙がらなかった。ちなみに、2010年の調査でもオリーブ色 (614) は「嫌いな色」の1位であったことから、色としては昔から変わらず好まれない色ということが分かる。

「身につけたくない」理由については、白色以外のすべての色で「D. 派手だから」という回答であった。白色 (001) は2010年と同じく「I. その他 (汚れやすそうだから)」という理由であった。

これらから、2010年、2019年とも山口大学の女子学生はコスモス色 (322, 系統色名：明るい赤紫)、シグナルレッド色 (411, 同：鮮やかな赤) およびたんぼぼ色 (414, 同：鮮やかな黄) のような派手な色を「身につけたくない色」とすることが分かった。

3. 3. PCCSトーン・PCCS色相でみる嗜好色

ここでは、アンケート回答者の色彩嗜好色とファッションアイテムの嗜好色、つまり「好きな色」と「身につけたい色」、をPCCSトーンとPCCS色相に分類して考察することにする。

3. 3. 1. PCCSトーンでみる嗜好色

表4は2010年および2019年の「好きな色」と「身につけたい色」において選ばれた色をPCCSトーンごとに分類し、トーン数の多い順に上位3位までを示したものである。それぞれの有効回答数に対するパーセンテージも示してある。なお、表中のトーン名は、PCCSに準じた略記号である。

まず表4 (a) より、各項目で最も多く選ばれたトーンは、ほとんどのアイテムでdarkトーンとn (無彩色) であった。「好きな色」とシャツのみ違っていて、「好きな色」はvividトーン、brightトーンが、シャツはpaleトーンが、darkトーンやn (無彩色) よりも多かった。なお、この表に挙がっているn (無彩色) は主に黒系 (黒・暗い灰色) であり、シャツのn (無彩色) のみ白系 (白・明るい灰色) である。

darkトーンやn (無彩色：黒系) と同じく明度の低いgrayishトーンが、コートやパンツ、ブーツなどのアイテムで上位に入っている。しかし、カーディガンやスカート、パンプス、リュックサック、ポシェット、ストールで

表5 「好きな色」と「身につけたい色」をPCCS色相で分類した上位3色相

(a)2010年				(b)2019年			
色・アイテム\順位	1位	2位	3位	色・アイテム\順位	1位	2位	3位
好きな色 n=218人	赤紫 23.4%	赤 17.4%	赤みの橙 黄みの橙 9.2%	好きな色 n=108人	赤紫 16.7%	赤 15.7%	赤みの橙 9.3%
コート n=218人	黄みの橙 19.3%	黒 14.2%	青 13.8%	コート n=107人	黄みの橙 25.9%	赤みの橙 20.4%	赤 14.8%
ダウン n=218人	黒 25.2%	赤紫 10.1%	暗い灰 8.7%	ボアジャケット n=108人	黄みの橙 22.2%	黄、白、黒 11.1%	赤みの橙 10.2%
シャツ n=218人	赤 16.5%	白 15.6%	青 11.9%	Tシャツ n=108人	白 25.9%	黒 17.6%	赤紫 8.3%
カーディガン n=217人	赤 17.5%	青 13.8%	赤紫 灰 10.1%	ワンピース n=108人	黄みの橙 19.4%	青 11.1%	赤 10.2%
パンツ n=218人	黒 21.6%	青 20.6%	黄 11.5%	パンツ n=108人	黒 35.2%	青 16.7%	黄みの橙 6.5%
スカート n=218人	青 13.8%	黒 12.8%	暗い灰 11.5%	スカート n=108人	黒 17.6%	赤みの橙 黄みの橙 11.1%	青 9.3%
パンプス n=218人	黒 22.9%	赤 18.8%	赤みの橙 11.5%	パンプス n=108人	黒 38.0%	赤 19.4%	黄みの橙 9.3%
ブーツ n=218人	黄みの橙 35.3%	赤みの橙 24.8%	黒 20.6%	スニーカー n=108人	黒 26.9%	白 16.7%	赤紫 9.3%
リュックサック n=217人	赤紫 16.6%	黄みの橙 14.7%	黒 12.0%	リュックサック n=108人	黒 60.2%	赤 7.4%	緑 暗い灰 3.7%
ボンゼット n=218人	黄みの橙 28.4%	赤みの橙 21.6%	赤 16.1%	ショルダーバッグ n=108人	黒 27.8%	赤 22.2%	黄みの橙 青 8.3%
ストール n=218人	赤紫 18.8%	赤 13.8%	黄みの橙 10.6%	マフラー n=107人	赤 22.4%	赤紫 14.0%	白 13.1%

はvividトーンが上位に入っており、ストールのみどのアイテムでも上位に挙がっているn（無彩色）はなく、softトーンが上位に入っている。

以上より、どのアイテムもdarkトーンとn（無彩色：黒系）がかなり高い割合を占めていることが分かる。特にブーツはdarkトーンとn（無彩色：黒系）で90%を超えている。しかし、カーディガンとストールでは上位であるが、高い値ではない。一方、「好きな色」で選ばれた色はvividトーンとbrightトーンであり、3位のdarkトーンより2倍近い割合であることが分かる。これより、女性は「色」としては彩度の高い鮮やかな色を好むが、実際に身につけるとなると明度・彩度を抑えた色を選ぶ人が多いということがいえる。

2019年では（表4（b））、各項目で選ばれた色をとーンで見ると、ほとんどのアイテムで「身につけたい色」はdarkトーンとn（無彩色）であった。「好きな色」のみ違っていて、「好きな色」の1位はvividトーンであり、これらの結果は2010年と概ね同じである。なお、この表（表4（b））のn（無彩色）は、表4（a）に同じく主に黒系（黒・暗い灰色）であるが、Tシャツとマフラーのn（無彩色）は白系（白・明るい灰色）で、ボアジャケットのn（無彩色）は白系と黒系が同数であった。

各アイテムで「身につけたい色」の1位にはdarkト

ーンとn（無彩色：黒系）が占めており、2位もほとんどがdarkトーンである。コート、ボアジャケット、ワンピースの2位にはgrayishトーンが入っているが、grayishトーンもdarkトーンやn（無彩色：黒系）と同じように明度が低いので、明度の低いトーンが「身につけたい色」として好まれていることが分かる。

2010年にはシャツのみ上位に挙がったpaleトーンが、2019年ではボアジャケットとマフラーで3位に入っている。この2つのアイテムは、9年前の調査には入っていなかったものである。

以上より、2019年においても、どのアイテムもdarkトーンとn（無彩色：黒系）がかなり高い割合を占めていることが分かる。特に、リュックサックとパンツではdarkトーンとn（無彩色：黒系）で80%を超えている。しかし「好きな色」ではdarkトーンが2位（17.6%）に挙がっているものの、1位のvividトーンと3位のbrightトーンを合わせると4割（25.0%+16.7%）となり、高彩度の色を選ぶ傾向にある。このことから、女性は「好きな色」では鮮やかな色を選ぶが、実際に身につける場合は低明度・低彩度トーンの鈍い色を選ぶと言える。

3. 3. 2. PCCS色相でみる嗜好色

表5は、2010年および2019年の「好きな色」と各

表6 「嫌いな色」と「身につけたくない色」をPCCSトーンで分類した上位3トーン

(a)2010年

色・アイテム\順位	1位	2位	3位
嫌いな色 n=218人	g 33.5%	v 19.7%	dk 18.8%
コート n=218人	v 37.2%	b 35.8%	p 11.5%
ダウン n=218人	v 39.0%	b 27.1%	p 9.2%
シャツ n=217人	v 46.1%	b 15.7%	dk 13.8%
カーディガン n=218人	v 36.2%	b 18.8%	n 13.3%
パンツ n=218人	v 46.8%	b 26.6%	n 14.2%
スカート n=218人	v 41.7%	b 24.8%	p 13.8%
パンプス n=218人	v 36.2%	b 25.2%	n 11.0%
ブーツ n=218人	v 48.6%	b 24.8%	n 12.4%
リュックサック n=217人	v 34.6%	b 19.4%	n 18.9%
ポシェット n=218人	v 32.1%	b 20.6%	p 14.2%
ストール n=218人	v 33.5%	b 22.0%	n 13.3%

(b)2019年

色・アイテム\順位	1位	2位	3位
嫌いな色 n=107人	v 25.9%	dk 22.2%	b 18.5%
コート n=107人	v 38.3%	b 34.6%	p 17.8%
ボアジャケット n=108人	v 56.5%	b 25.0%	p 5.6%
Tシャツ n=108人	v 44.4%	b 28.7%	dk 8.3%
ワンピース n=107人	v 40.7%	b 29.6%	n 10.2%
パンツ n=108人	v 52.8%	b 16.7%	n 13.9%
スカート n=108人	v 43.5%	b 26.9%	n 13.0%
パンプス n=107人	v 49.1%	b 14.8%	n 13.9%
スニーカー n=108人	v 43.5%	b 28.7%	p 10.2%
リュックサック n=108人	v 59.3%	b 21.3%	n 8.3%
ショルダーバッグ n=108人	v 51.9%	b 19.4%	n 13.0%
マフラー n=108人	v 49.5%	b 22.4%	n 11.2%

ファッションアイテムで「身につけたい色」において選ばれた色をPCCS色相に分類し、色相数の多い順に上位3位までを、それぞれの有効回答数に対するパーセンテージで示したものである。以下、色相名を色名と区別するために「色相“○○”」と記す。

表5(a)より、2010年は、「好きな色」で上位に選ばれた色相“赤”や色相“赤紫”などの女性に人気のある色相が、ダウン、シャツ、カーディガン、パンプス、リュックサック、ポシェット、ストールの7アイテムで「身につけたい」と思う人が多いということが分かる。また、黒も多くのアイテムで選ばれているが、これは黒が着回しがきく、合わせやすい色だからであると考えられる。色相“黄みの橙”がコートやブーツ、リュックサック、ポシェット、ストールで選ばれているのは、当時はキャメル色（系統色名：くすんだ赤みの黄，7.5YR5.5/4）という隣りの色相の色が流行っており、定番色としてこれらのアイテムで雑誌に掲載されていたり、店頭に並んだりしているためではないだろうか。また、色相“青”が選ばれているのはデニムの色や定番色のネイビーといった色が人気であるからと考えられる。

2019年では（表5(b)）、多くのアイテムで1位を占めているのが黒であり、パンツ、スカート、パンプス、スニーカー、リュックサック、ショルダーバッグの6アイテムで選ばれている。黒は着回しがきき、合わせやすいことから多く選ばれているのではないかと考えられる。

2010年は、1位に黒が入っているアイテムは3アイテムしかなく、あとは色相“赤紫”、色相“赤”や色相“黄みの橙”などの有彩色であったことを鑑みれば、2019年はあまり色味のある色を選ばなかったことが分かる。

一方、「好きな色」で上位に入っている色相“赤紫”や色相“赤”、色相“赤みの橙”の女性に人気のある色相は、パンツ以外のすべてのアイテムにおいて上位に選ばれていた。

3.4. PCCSトーン・PCCS色相でみる嫌悪色

ここでは、アンケートの回答者の色彩嫌悪色とファッションアイテムの嫌悪色、つまり「嫌いな色」と「身につけたくない色」をPCCSトーンとPCCS色相に分類して考察することにする。

3.4.1. PCCSトーンでみる嫌悪色

表6は2010年および2019年の「嫌いな色」と「身につけたくない色」において選ばれた色をPCCSトーンごとに分類し、トーン数の多い順に上位3位までを示したものである。それぞれの有効回答数に対するパーセンテージも示してある。

表6(a)より、2010年は、すべてのアイテムでvividトーンとbrightトーンが1位と2位に挙がっていることが分かる。vividトーンとbrightトーンが1、2位を占めるのは、身につけるものでは派手な色を好まないからと考え

表7 「嫌いな色」と「身につけたくない色」をPCCS色相で分類した上位3色相

(a)2010年				(b)2019年			
色・アイテム\順位	1位	2位	3位	色・アイテム\順位	1位	2位	3位
嫌いな色 n=218人	黄 23.9%	赤紫 12.4%	赤 黄緑 9.6%	嫌いな色 n=107人	赤紫 19.6%	黄 16.8%	黄緑 12.1%
コート n=218人	黄 20.6%	赤紫 13.8%	赤 13.3%	コート n=107人	緑みの青 19.2%	赤紫 18.3%	黄 12.5%
ダウン n=218人	黄 16.1%	赤紫 14.7%	赤 13.8%	ボアジャケット n=108人	赤 17.9%	赤紫 17.0%	黄 12.3%
シャツ n=217人	赤 21.2%	黄 12.9%	赤紫 9.7%	Tシャツ n=108人	赤紫 19.8%	赤 18.9%	赤みの橙 9.4%
カーディガン n=218人	黄 緑 13.8%	赤 11.5%	赤紫 11.0%	ワンピース n=107人	赤 18.9%	赤紫 13.2%	黄 12.3%
パンツ n=218人	赤紫 22.0%	赤 20.2%	白 13.3%	パンツ n=108人	赤 23.6%	黄 20.8%	赤紫 13.2%
スカート n=218人	黄 15.6%	赤紫 13.3%	白 8.3%	スカート n=108人	黄 24.5%	赤紫 14.2%	赤 13.2%
パンプス n=218人	黄 17.0%	赤紫 緑 10.6%	赤 10.1%	パンプス n=107人	黄 19.0%	赤 12.4%	白 11.4%
ブーツ n=218人	赤 15.1%	赤紫 13.8%	黄 白 11.5%	スニーカー n=108人	赤紫 15.1%	赤 黄 14.2%	緑 9.4%
リュックサック n=217人	白 12.9%	黄 12.4%	赤 11.1%	リュックサック n=108人	赤 20.8%	黄 16.0%	赤紫 14.2%
ポシェット n=218人	赤紫 11.9%	黄 黄緑 11.5%	赤 10.6%	ショルダーバッグ n=108人	赤 16.3%	赤紫 黄 13.5%	黄みの橙 緑 白 7.7%
ストール n=218人	黄 13.3%	赤 12.4%	赤紫 10.1%	マフラー n=108人	赤 17.9%	赤紫 12.3%	黄 黄緑 9.4%

られる。コート、ダウン、スカート、ポシェットの3位にpaleトーンが入っている。paleトーンはあまり秋冬らしい色ではないので好まれないと考えられる。カーディガン、パンツ、パンプス、ブーツ、リュックサック、ストールの3位にn(無彩色)が挙がっているが、これらのうち、ストールのみ黒系で、他のアイテムは白系である。

「嫌いな色」の1位はgrayishトーンで最も高いパーセンテージを示しており、色としてはあまりきれいでない少し濁ったような色で、馴染みのない色だからではないだろうか。次いでvividトーンが挙がったのは、表4(a)の「好きな色」1位にvividトーンが挙がっているのに対し、派手な色を好まない人も相当数いるからである。いわば、好き嫌いが分かれるトーンであると言える。

一方、2019年では(表6(b))、すべてのアイテムでvividトーンが1位である。どのアイテムにおいてもvividトーンが1位を占めているのは、vividトーンの色は派手であり、アイテムとして身につけると目立つため、周りと浮いてしまうことから身につけるのが難しいと思う人が多いのではないかと考えられる。2位にすべてのアイテムに挙がっているbrightトーンは、秋冬向きの色でないことが要因ではないかと考えられる。ワンピース、パンツ、

スカート、パンプス、リュックサック、ショルダーバッグ、マフラーの3位に挙がっているn(無彩色)は、マフラーのみ白系と黒系が同数で、他のアイテムは白系である。

「色」として「嫌いな色」も1位はvividトーンで、派手な色を嫌う人が多いということが分かる。次いでdarkトーンが挙がっているが、これはvividトーンとは逆に暗めの色に当たる。ここから、アイテムに関係なく、「色」として派手な色を嫌う人もいれば、「色」として暗めの色を嫌う人もおり、両極端に分かれると言える。

2010年に「嫌いな色」のトーンで1位であったgrayishトーンは、2019年では上位には入っていなかった。

3.4.2. PCCS色相でみる嫌悪色

表7は、2010年および2019年の「嫌いな色」と各ファッションアイテムで「身につけたくない色」において選ばれた色をPCCS色相に分類し、色相数の多い順に上位3位までを示したものである。前述と同様、以下、色相名を色名と区別するために「色相“○○”」と記す。

表7(a)より、2010年は、「好きな色」(表5(a))で1位であった色相「赤紫」が「嫌いな色」で2位に、「好きな色」で2位であった色相「赤」が「嫌いな色」

で3位に選ばれたことから、色相“赤”や色相“赤紫”は好きな人も多いが嫌う人も多いという、好みが分かれる極端な色相だということが分かる。「身につけたい色」(表5(a))でも色相“赤”と色相“赤紫”は、7アイテムで上位3位までに挙がっており人気があったが、「身につけたくない色」としても11アイテムすべてに上位に挙がっていることから明らかである。また、色相“黄”もパンツを除く10アイテムで多くの回答があり、vividトーンやbrightトーンの彩度の高いトーンでは派手な色となり、grayishトーンやdarkトーンといった彩度の低いトーンでは汚く、濁ったような色になるために、色相“黄”はどのトーンでも嫌われてしまったのではないだろうか。白もパンツ、スカート、ブーツ、リュックサックで「身につけたくない色」の上位に選ばれており、「汚れやすい」という理由から、あまりファッションアイテムの色としては人気がないようである。

2019年では(表7(b))、「好きな色」(表5(b))で1位であった色相“赤紫”が「嫌いな色」でも1位に選ばれていることから、色相“赤紫”は好きな人も多いが嫌いな人も多いという極端に分かれる色相であることが分かる。色相“赤”や色相“赤紫”が「身につけたくない色」の上位を占めているが、「身につけたい色」(表5(b))でも色相“赤”や色相“赤紫”が3位までに入っていたことからこれは明らかである。白はパンプスとショルダーバッグの2アイテムで「身につけたくない色」3位に入っているが、表6(b)のように白系(マフラーを除くn(無彩色))でみると、6アイテムで3位に挙がっており、ワンピース、パンツ、スカートでは、「汚れやすい」、「太く見えそう」という理由から、残りのパンプス、リュックサック、ショルダーバッグは「汚れやすい」という理由から、白系は敬遠されるようである。

「嫌いな色」で2位に選ばれた色相“黄”は、Tシャツ以外のアイテムで上位に選ばれている。黄の色相は、表3で「嫌いな色」1位であったオリーブ色(614)や、「身につけたくない色」で多数のアイテムにおいて上位に選ばれていたたんぼ色(414)がこれにあたる。brightトーンやvividトーンでは派手な色になり、grayishトーンやdarkトーンでは濁った色になるため、どのトーンにおいても色相“黄”は好まれない色ではないかと考えられる。

3. 5. 2010年調査結果と2019年調査結果の比較

「色」としての嗜好色と嫌悪色が「秋・冬のファッションアイテム」の嗜好色と嫌悪色にどう関係しているのか、山口大学の1年生から4年生女子を対象に行った2010年調査と2019年調査それぞれの結果を比較しながら、ファッションの傾向を考察してみたい。

3. 5. 1. 嗜好色の比較

2010年の調査、2019年の調査での「好きな色」のトーンを比較すると(表4)、どちらの年も最も選ばれたトーンはvividトーンであった。次いで2010年の調査ではbrightトーン、darkトーンであり、2019年の調査ではdarkトーン、3位にbrightトーンとsoftトーンとが同数で、人気のあるトーンはほとんど同じ結果となった。

「好きな色」ではvividトーンが最も選ばれていたが、「身につけたい色」としては2位や3位にvividトーンが入る中、1位には違うトーンが選ばれていた。このことから、「好きな色」をファッションアイテムとして「身につけたい色」に選んでいる人より、「好きな色」とは別にファッションアイテムの色を考えている人が多いことが推察できる。

では、「身につけたい色」として最も選ばれたトーンは、2010年の調査ではdarkトーン(11アイテム中8アイテムで1位)に対して、2019年の調査ではn(無彩色)(11アイテム中7アイテムで1位)であった(表4)。特に変化が大きかったアイテムはリュックサック、パンツ、パンプスであった。2010年の調査でリュックサックは、37.3%がdarkトーン、16.6%がn(無彩色：黒系)であったが、2019年の調査では、19.4%がdarkトーン、69.4%がn(無彩色：黒系)であった。

パンプスでは、2010年の調査では34.4%がdarkトーン、27.1%がn(無彩色：黒系)が選ばれたことに対して、2019年の調査では30.6%がdarkトーン、45.4%がn(無彩色：黒系)を選んでいる。

同様にパンツでは、2010年の調査では49.5%がdarkトーン、29.4%がn(無彩色：黒系)を選んでいることに対して、2019年の調査では38.0%がdarkトーン、44.4%がn(無彩色：黒系)が選ばれた。

2010年調査での「好きな色」と比較してみても、darkトーンが14.7%、n(無彩色：黒系)が7.8%(4位以下なので表に記していない)選ばれており、2019年調査ではdarkトーンが17.6%、n(無彩色：黒系)が7.4%(同様に記していない)と大差はなく、やはり、20%近くあるいはそれ以上を占めるvividトーンやbrightトーンの鮮やかで明るい有彩色が「好きな色」として人気がある。

以上のことから、2010年の調査でも、2019年の調査でも「好きな色」には大差はなくvividトーン、brightトーンの明るくて鮮やかな色を好む人が多い中、「身につける色」としては、2010年ではdarkトーンが、2019年の調査ではn(無彩色：黒系)が最も選ばれていたことが分かった。

ここで考察される2010年調査と2019年調査との大きな違いは、2010年は秋・冬のファッションアイテムとして、darkトーンを選ぶ人が多い中で、コーヒーブラウン

(613)、茶色(612)のdarkトーンが多かった。「身につけたい色」として、コート、パンプス、ブーツ、リュックサック、ポシェット(計11アイテム中5アイテム)の上位3位にはいずれかの色が選ばれている(表2(a))。

しかし、2019年調査では、darkトーンとして、コーヒーブラウン(613)、茶色(612)が多く選ばれている中、2010年調査でそれらの色が多く選ばれていた靴類や小物類には、パンプス以外上位には入っておらず、darkトーンの中でもガーネット(611)が多く選ばれる結果となった(表2(b))。

2019年調査では「好きな色」の2位にガーネット(611)が選ばれていることから(表2(b))、茶系の色が秋・冬のファッションアイテムとしては今も変わらず人気である中、黒・茶系が多くを占めていた2010年調査と比べ、黒・茶系に加え、「好きな色」に選ばれやすい赤の色相であるガーネット(611)が人気だということが分かった。これは、2019年秋冬のトレンドカラー²⁾に暗めの赤系が入っていたことも大いに影響したと考えられる。

以上のことから、2010年の調査では、darkトーンが最も選ばれており、次いで黒、そして靴類や小物類には茶系が選ばれた(表4(a)、表2(a))。2019年の調査では、n(無彩色:黒系)が最も選ばれており、黒、茶系、そして「好きな色」2位に選ばれたガーネット(611)が靴や小物類に人気となる結果となった(表4(b)、表2(b))。

2010年の調査で特に靴や小物類に茶系が多く選ばれている理由としては、2010年前後に「森ガール」と呼ばれる花柄の色鮮やかなワンピースや淡い色のワンピースなどに、茶系のブーツやサンダル、ハットやバッグを合わせるというファッションスタイルが流行したことが挙げられる。そのため、ファッションのメインアイテムよりは、靴や小物類のアイテムに茶系が多く選ばれたのではないかと考えられる。

それに対し、2019年はスポーティーなファッションが好まれ、様々なスポーツメーカー、アウトドアメーカーのリュックサックやショルダーバック、スニーカーなどが人気であった。ファッションとの合わせやすさや、使いやすさを重視する中で、靴や小物類に黒が多く選ばれているのだと考えられる。また、最新のファッションでは指し色には赤系が人気とされており、明るすぎず大人な色合いとして用いられるガーネット色(611)はファッションのアクセントやワンポイントにもなる上、他のファッションアイテムと合わせやすいことで今回の調査で靴や小物類に多く選ばれたと考えられる。

3. 5. 2. 嫌悪色の比較

2010年調査(表6(a))の「嫌いな色」2位であるvividトーンが「身につけたくない色」のトーンとして最も選ばれ、2019年調査(表6(b))においても、「嫌いな色」1位であるvividトーンが「身につけたくない色」のトーンとして最も選ばれた結果となった。秋・冬のファッションアイテムとしてvividトーンを身につけたくないと思う人が多いようだ。

2010年調査(表3(a))より、「嫌いな色」1位に選ばれたオリーブ(614)と2位のオリーブドラブ(514)は、「身につけたくない色」としてはどのアイテムにも挙がっていない。しかし、「嫌いな色」3位であるコスモス(322)は10アイテムにおいて上位3位のいずれかに選ばれていた。そのほかに、シグナルレッド(411)(11アイテム)、たんぼぼ色(414)(7アイテム)、白(001)(7アイテム)が選ばれている。

2019年調査(表3(b))においても、「嫌いな色」1位のオリーブ(614)は「身につけたくない色」としてどのアイテムにも登場しない。しかし、2位であるコスモス(322)は11アイテム中8アイテムに、3位であるシグナルレッド(411)は11アイテム中10アイテムに、それぞれ上位3位のいずれかに選ばれていた。そのほかに、たんぼぼ色(414)(9アイテム)、白(001)(6アイテム)が多く選ばれている。

以上のことから、2010年の調査でも、2019年の調査でも「嫌いな色」のトーンとしてvividトーン、brightトーンが選ばれやすく、また「嫌いな色」としても「身につけたくない色」に選ばれやすいことが分かった。

2010年と2019年の調査で分かったことは、「好きな色」をファッションアイテムに取り入れたいと考える人は少なく、季節や全体の色のバランスを考えてアイテムの色を選ぶ傾向にあるようだ。また、2010年に比べて2019年の調査ではファッションアイテムの色の傾向としてn(黒・白・灰)の人気が高いことが分かった。また、「身につけたくない色」としてn(無彩色)が選ばれるのは黒系ではなく白系であり、その理由が「色の好みの良し悪し」ではなく、「汚れを気にするがゆえ」であることがわかった。

「嫌いな色」と「身につけたくない色」では2010年の調査でも、コスモス(322)、シグナルレッド(411)、たんぼぼ色(414)、白(001)が多く選ばれていて、特に2019年の調査の方が「嫌いな色」を「身につけたくない」と回答する人が割合的に多かった。

4. まとめ

今回のアンケート調査では、「色」としての嗜好色と「ファッションアイテムの色」としての嗜好色の関係性、「色」としての嫌悪色と「ファッションアイテムの色」と

しての嫌悪色の関係性を明らかにすることを目的とした。また、同時に2010年の調査と2019年の調査の結果を比較し、ファッションの経年変化を調べることも行った。

全体の傾向として、ファッションアイテムの色は「好きな色」を身につけたいということよりも、全身のコーディネートを考えたいうえで合わせやすい秋・冬の季節に合う色合いを選ぶことが多いことが分かった。「身につけたい色」の上位にあがった色は、黒色や紺色、灰色などの定番色や、茶色、コーヒブラウン色のような秋・冬の定番色である。2010年の調査では茶色やコーヒブラウン色を選ぶ人が多く、もともと秋・冬の定番色であるが、その当時は流行る色として発表され、流行色（トレンドカラー）という位置づけになっていた。2019年では茶系の色を流行色としては発表されておらず、単なる秋・冬の定番色扱いであった。その中でも2019年調査では、好きな色の2位である赤のdarkトーンのガーネット色が「身につけたい色」として多く選ばれていた。「身につけたくない色」では、シグナルレッド色、コスモス色、たんぽぽ色のような派手な色が選ばれていた。しかし、赤や赤紫の色相（特にシグナルレッド色）は好き嫌いが大きく分かれるため、「身につけたい」と回答する人も多かった。この結果は2010年の調査でも同じ結果であった。

「色」としての嗜好色と「ファッションアイテムの色」としての嗜好色との関係を見ると、赤系、赤紫系の色は「好きな色」かつ「身につけたい色」と思う人もいれば、「好きな色」が必ずしも「身につけたい色」にはならない人もいることがわかった。

「色」としての嫌悪色と「ファッションアイテムの色」としての嫌悪色との関係を見ると、「嫌いな色」を「身につけたくない」と回答する人が多かった。その中でも、「嫌いな色」で派手な色を選んだ人が多く、嗜好色としてもファッションアイテムの色としても派手な色は好まれない傾向にあることがわかった。

参考文献

- 1) たとえば、大井義雄・川崎秀昭著「カラーコーディネーター入門 色彩」, 日本色研事業株式会社2007
- 2) 一般社団法人日本流行色協会 (JAFCA), <https://www.jafca.org/colortrend/ladieswear/>
(但し、実シーズンを含めて3ヶ年分しか記載されていないため、2021年現在は2010年秋冬のトレンドカラー情報を閲覧できない。)